



# 遠隔会議システムを利用したがん看護研修事業

責任者:細川 舞 共同者:遠藤 良仁, 及川 紳代

令和5年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

## 活動目的

ルーラル地域の看護師を対象に、遠隔会議システムを使用したがん看護研修を開催し、システムの有効性の評価とがん看護の質向上を図ることを目的とする。

## 活動内容

### 1.研修開催方法

岩手県内の医療機関、訪問看護ステーションに開催案内(画像)を送付した。遠隔会議システム(Zoom)を用いたWeb研修のため、申込者に対して希望があれば事前に接続テストを設けた。関心や希望に応じて参加できるように各回の申込みとし、それぞれ事前に登録されたメールアドレスに資料を送付した。

### 2.研修テーマ・研修方法・申込み実績

2023年度は、Webおよび現地特別開催をあわせて5回の研修会を実施した。

回数/日時/申込人数	テーマと講師
【第1回】 現地/10月14日/15名 宮古キャンパス	がん患者のスキンケア基礎セミナー 盛岡赤十字病院 毛利明子さん 平賀深友紀さん
【第2回】 現地/11月18日/12名 大更コミュニティセンター	がん患者のスキンケア基礎セミナー 盛岡赤十字病院 毛利明子さん 平賀深友紀さん
【第3回】 Web/11月25日/12名	がん患者家族の語り がん患者ご家族様
【第4回】 Web/1月27日/26名	患者・家族からみたACP(アドバンス・ケア・プランニング)の意味 ～看護外来の実践から～ 国立病院機構渋川医療センター 本多昌子さん
【第5回】(予定) 現地/3月23日/ 八幡平市立病院	地域緩和ケアの普及に向けて ～八幡平市立病院、緩和ケアチームの取り組みから～ 八幡平市立病院 薬剤師 中軽米幸さん 社会福祉士 武内晶さん 緩和ケア認定看護師 佐々木里美さん

## 活動成果

各回10~30名程度の申し込みがあり、研修後のアンケートにより満足度については、高評価が得られた。Web開催では「闘病中から亡くなった後までご家族の気持ちの変化など、貴重なお話を聞かせていただいた」(第1回)、「ACPについて理解を深められました。誰もが同じように理解する事の難しさを感じていました」(第2回)などの意見が寄せられた。現地開催では「現在疑問に感じている内容とあっていて、実演もありわかりやすかった」(第1回)、「復習にも、新たな学びにもなったと感じた」(第2回)などの意見が寄せられた。また、研修会をきっかけに参加者が講師と連携することができ、講師が参加者の施設へ出向いて講義をするなど、リソースを活用するためのネットワーク構築につながった。

